

C7 幼児の言語発達——形容詞の発達  
美作 短大 額田 清

目的：幼児の言語発達、特に形容詞の使用の状態に関する調査

方法：A・B・Cの3児についてその発語をテープレコーダーその他により記録、形容詞（形容動詞を含む）について分析、また文献中の他児の使用例と照合・検討を行なう。

結果：状態をあらわす語の発達は遅く、感情・感覚をあらわす語、特にマイナスの評価を与える語（苦痛・不快の表明）の発達は早い。

このよう傾向を生じる原因は保育者の保育態度にあると考えられる。